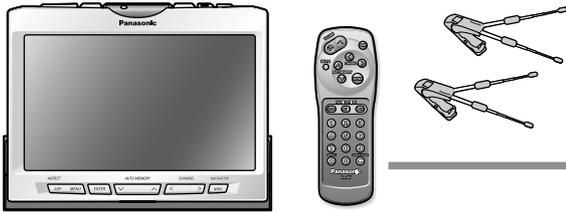


Panasonic

7V型ワイドインダッシュTV



取扱説明書

品番

CY-TV7200D



保証書別添付

このたびは、パナソニック カーオーディオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

特長

もくじ

フル電動メカ搭載の7V型ワイドインダッシュTV

7V型ワイド液晶カラーディスプレイと音声多重TVチューナーを1DINサイズに内蔵ボタンを押すだけで立ち上げまでフル電動(左右の角度は、手動で調整可能)

TILT (チルト) ボタンが光る親切設計

エアコン調整時などにモニターを倒す、便利な「TILTボタン」のインジケーターが緑色に点灯、正面からでもひと目でわかるようになりました。(⇒12ページ)
夜間の操作に大変便利です。

オートディマー (自動調光機能) 内蔵 (⇒20ページ)

周囲の明るさに応じて画面の明るさが自動的に調整されます。

カーナビゲーションシステム対応

別売のナビゲーションに付属のリモコンで、本機の操作が可能(⇒38ページ)
モニターの背面に、音声案内に適した小型スピーカーを内蔵(⇒10ページ)

FMトランスミッター内蔵 (⇒16ページ)

配線の手間なく、テレビ音声(ステレオ)を電波で送信して車載のFMラジオで楽しむことができます。

ご使用前に

特長.....	2
安全にお使いいただくために	4
使用上のお願い	8
付属品・添付品の確認と準備	9
各部のなまえとはたらき	10

使う

電源を入れる・基本操作	12	
モニターの開閉	電源ON/OFF	モード切り替え
音量調整	消音(ミュート)	
モニターの上下角度(TILT)・位置調整/左右の角度調整/一時的に倒す		
テレビを見る.....	14	
チャンネルを記憶させるには(オートメモリー).....	15	
テレビ放送の音声を切り替えるには.....	15	

使いこなす

組み合わせる/便利な機能	16	
FMトランスミッター	ナビゲーション	2台目のモニター
車載用カメラ	DVDビデオプレーヤー、ビデオカメラ	
映像の横縦比(アスペクト)を変える		
いろいろな設定と調整	20	
画面調整	20	
時計設定	20	
ユーザー設定.....	22	

必要なときに

お手入れのしかた	24
故障かな!?	24
配線・取り付けの前に	27
取り付けかた	29
テレビアンテナを取り付ける	30
配線のしかた	32
ナビ付属リモコンでの操作	38
仕様	39
アフターサービスについて	裏表紙

ご使用前に

使いかた

必要なときに

安全にお使いいただくために

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

運転者は走行中に操作をしない また画像・表示を注視しない



禁止

走行中の操作や画面・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。
必ず安全な場所に停車させてから操作してください。

取り付け・アース配線等に、保安部品を絶対に使わない



禁止

保安部品(ステアリング・ブレーキ系統・タンクなど)のボルト・ナット・ビスを使用すると、事故の原因になります。
説明に従い、付属品や指定の部品を使用してください。

DC 12 V ⊖アース車で使用する



本機はDC 12 V ⊖アース車専用です。DC 24 V車(大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など)には使用できません。火災や故障の原因になります。

配線・取り付け作業中は、 バッテリーの⊖端子を必ずはずす



バッテリーの⊖端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。



警告

故障や異常のまま使用しない



禁止

万一、故障(画像が映らない、音が出ないなど)や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・異臭がするなど)が起こった場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に相談してください。
そのまま使用を続けると、事故や火災・感電の原因になります。

必ず規定容量のヒューズを使用する また、交換は専門技術者に依頼する



規定容量を超えるヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に依頼してください。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す



ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。
事故やけがの原因になります。

指定に従って設置・配線する



説明に従って正しく設置・配線しないと、事故や火災の原因になります。

分解・修理、および改造をしない



分解禁止

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。

電池は乳幼児の手の届かないところに保管する



事故の原因になります。
万一飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

エアバッグのカバー部分や作動の妨げになる場所に、絶対に取り付けない



禁止

エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。

リモコンを放置しない



禁止

運転中に足下へ転がってブレーキペダルなどの下へ入り込むと、運転を妨げて交通事故の原因になります。

安全のため、必ずサイドブレーキコードを接続して使用する



説明に従って正しく配線しないと、安全機能が働かなくなり、交通事故の原因になります。

雷が鳴りだしたら、アンテナやプラグに触らない



禁止

感電の原因になります。

⚠ 注意

配線・取り付けは、専門技術者に依頼する

 配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

水のかかる場所、湿気や埃の多い場所で使用しない

 発煙・発火・感電・故障の原因になることがあります。特に洗車や雨のときなどに、水がかからないようにしてください。

必ず付属品や指定の部品を使用する

 指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかり固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

適正な音量で使用する

 車外や周囲の音が聞こえない状態での運転は、事故の原因になることがあります。

本機の通風孔や放熱板をふさがない

 内部に熱がこもり、発火や故障の原因になることがあります。

機器内部に異物を入れない

 内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電、故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

可動部に手・指を入れない

 手や指を挟まれるなど、けがの原因になることがあります。特に乳幼児にご注意ください。

アンテナは、はみ出さないように取り付ける

 アンテナのエレメントが車幅および車の前後部からはみ出すと、歩行者の目や顔などに接触して、事故やけがの原因になります。

コードを破損しない

 断線やショートにより、感電や火災の原因になることがあります。車体やねじ・可動部(シートレールなど)への挟み込みで破損しないように引き回す。傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。

アンテナは、落下しないようにしっかりと取り付ける

 ねじがゆるんでいたりと、取り付け部の接着が弱いと、走行中に落下して車のボディを傷つけたり、事故やけがの原因になります。時々点検してください。

⚠ 注意

電池は正しく扱う

 破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚染する原因になることがあります。指定の電池以外は使用しない。
⊕⊖を電池ケースの表示に合わせて入れる。
使いきった電池は、すぐに交換する。
リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。
充電・分解・変形・加熱、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしない。
電池を破棄、または保管するときは絶縁する。(ビニール袋に入れる、テープなどを巻く)
著しく温度が高くなるところに電池や電池の入ったリモコンを放置しない。
(窓を閉めきった車や車のトランクの中、直射日光のあたるところ、ヒーターの近くなど)

電池の液もれが発生した場合の処置について

電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。
もれた液が身体や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。
万一、目に入ったときは、こすらずにすぐ水で洗い流し、医師に相談してください。

電池を廃棄する場合は

地方自治体の条例などに従って処理してください。

使用上のお願い

必ず、サイドブレーキコードを接続して使用してください。
走行中はテレビ、ビデオの画像が表示されず、音声のみとなります。また、停車状態でもサイドブレーキを引かないと映像は表示されません。(安全機能)(2台目のモニターには、映像が表示されます。)

他の機器と接続する場合は

各機器の取扱説明書も併せてよくお読みのうえ、正しく使用してください。

携帯電話を使用する場合は

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離して使用してください。

本機の取り扱いについて

車載用以外には使用しないでください

車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドアなど)に使用すると、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

液晶ディスプレイについて

特殊加工されているので、あまり触れないでください。指紋が目立ちます。
衝撃を与えたり、押しすぎたりしないでください。
低温になると、映像が出なくなったり、出るのが遅くなったりすることがあります。また、映像の動きに違和感が出たり、画質が劣化したりすることがあります。(使用可能温度: 0 ~ 40)
使用温度範囲(-20 ~ 80)を超えると液晶ディスプレイが化学変化を起こし、故障の原因になります。

免責事項について

火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記録内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。

商品に添付の保証書は、当該商品を業務用の車両(バス・タクシー・商用車など)に使用する場合、適用対象になりません。

付属品・添付品の確認と準備

付属品

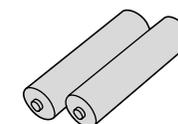
万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

配線・取り付け用の部品は、27ページをご覧ください。

リモコン

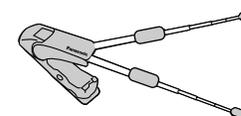


単4形乾電池 (R03)



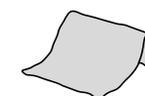
(2個)

テレビアンテナ
(コード6 m)



(左右1組)

クリーニングクロス

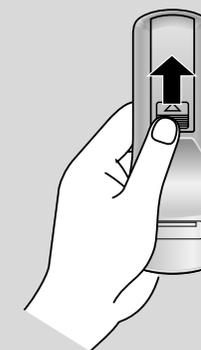


添付品

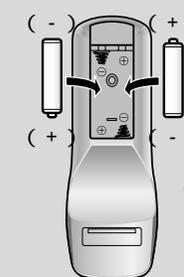
取扱説明書(本書)
保証書
お客様ご相談窓口一覧表

リモコンに電池を入れる

1 押しながら、ふたを開ける



2 電池を入れて、ふたを閉める



⊕⊖の向きを、
表示に合わせてください。

電池について

使用電池: 単4形乾電池 (R03) (2個)

電池寿命: 通常の使用状態(常温時)で約5カ月
(マンガン電池/常温時)

取り扱いの注意書き(27ページ)を、よくお読みください。

お願い

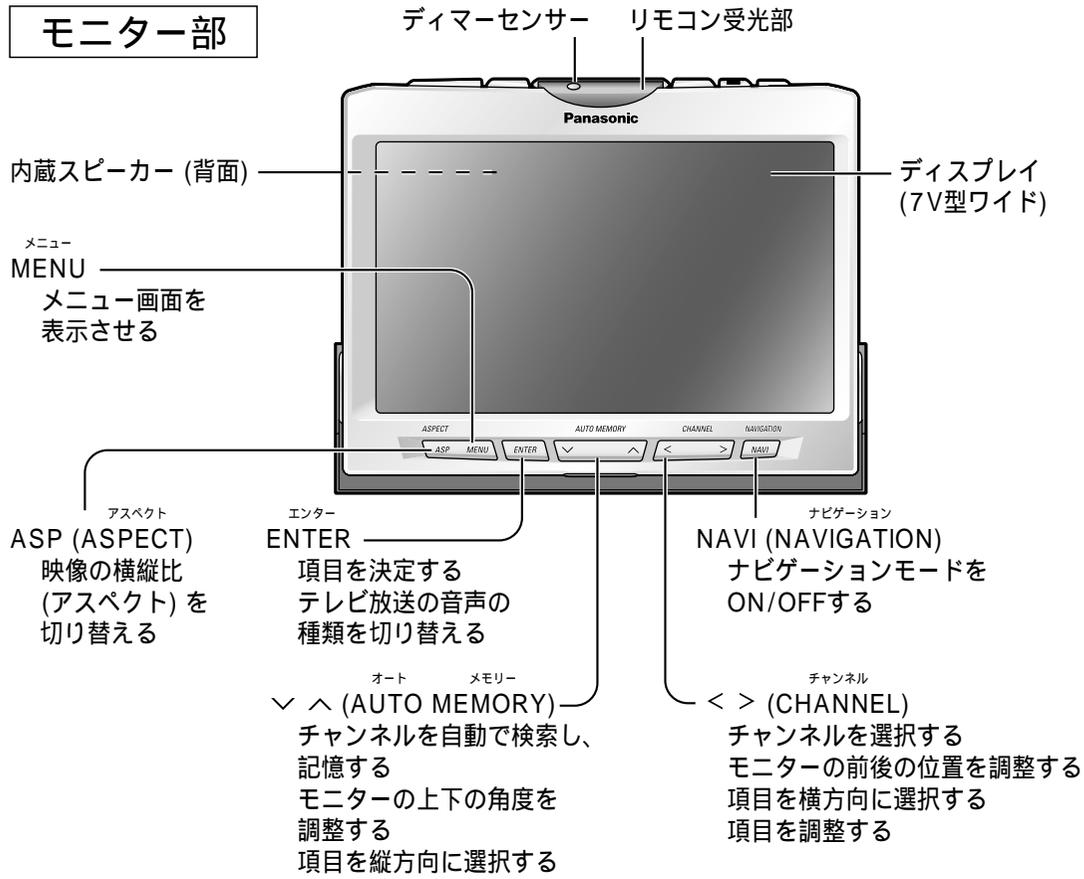
アルカリ電池は使用しないでください。

ご使用前に

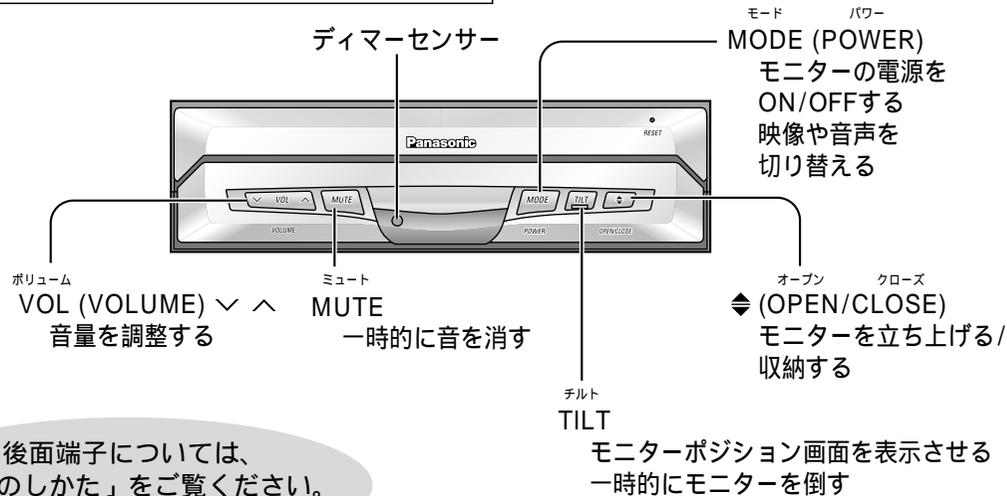
各部のなまえとはたらき

本体

モニター部



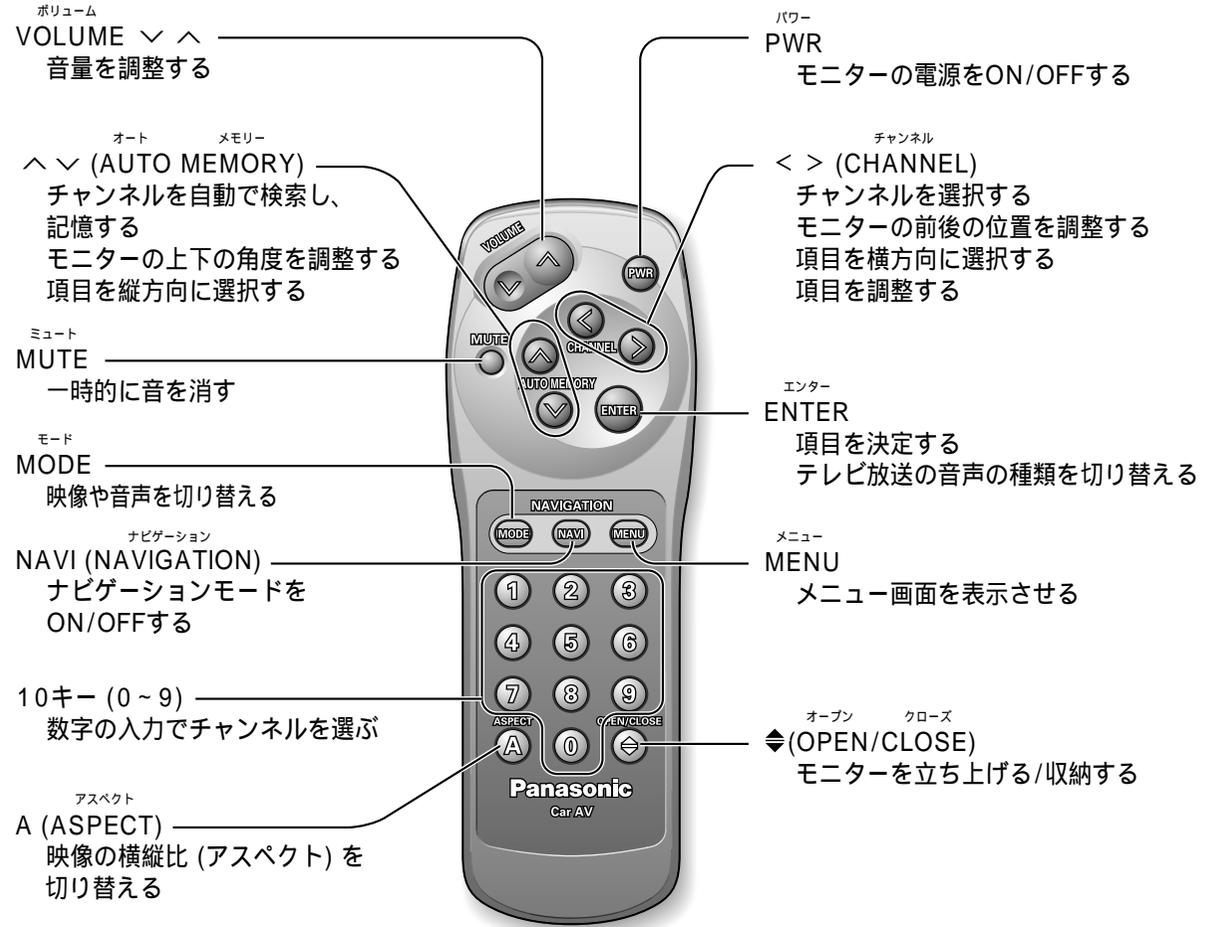
前面部 (モニターを立ち上げる前)



後面端子については、「配線のしかた」をご覧ください。
(☞33ページ)

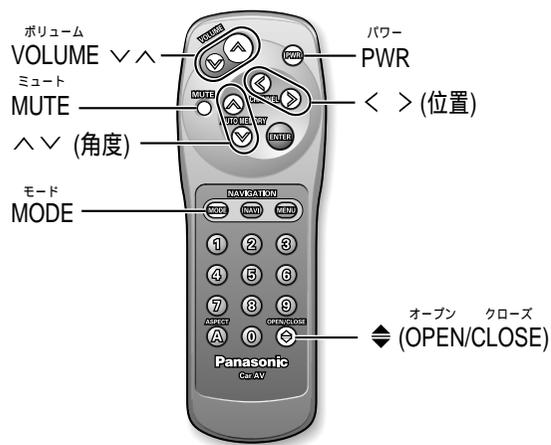
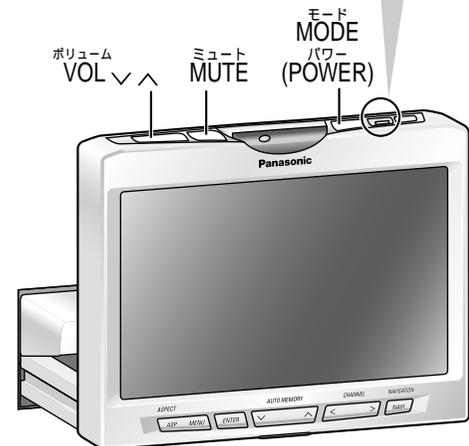
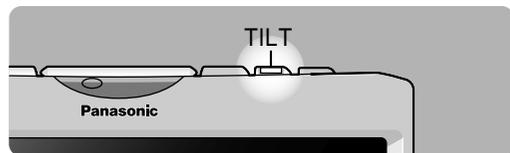
リモコン

本体 (モニター部) のリモコン受光部へ向けて、操作してください。



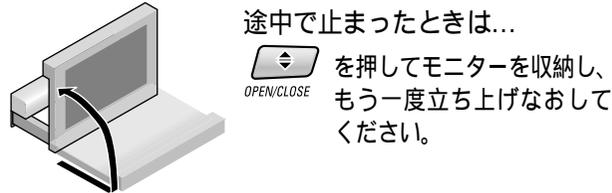
電源を入れる・基本操作

準備 車のエンジンをかける
(「ACC」の位置でも可)



モニターを開く/閉じる

OPEN (開く) : を押す
モニターが立ち上がり、
TILTボタンが点灯します。



途中で止まったときは...
 を押してモニターを収納し、
もう一度立ち上げなおして
ください。

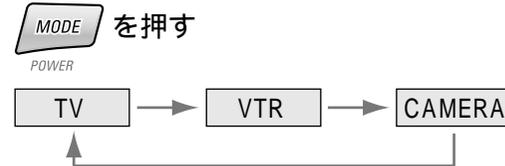
CLOSE (閉じる) : モニターの左右の角度を中央に戻して
 を押す
モニターが収納され、
TILTボタンが消灯します。

電源を入れる/切る

ON (入) : モニターを立ち上げてから、
 を押す
(リモコンは または)

OFF (切) : を2秒以上押す
(リモコンは)

モードを切り替える



内蔵スピーカーの音量を調整する

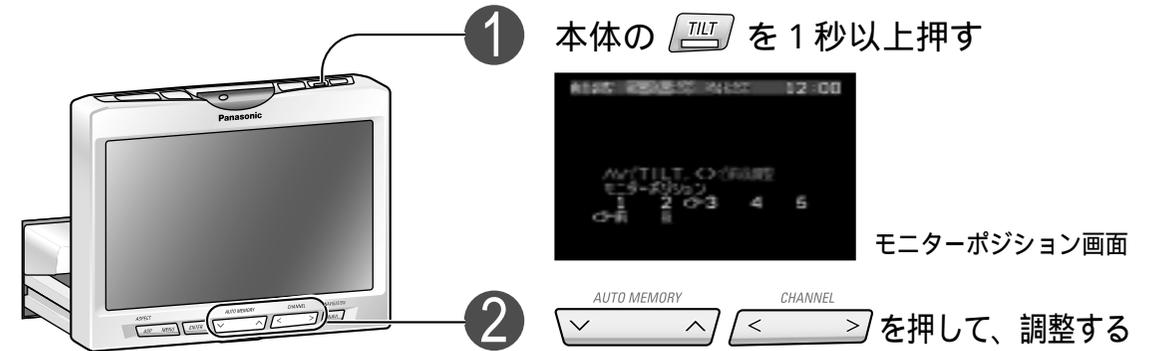
を押す 調整範囲：0～30
モードごとに記憶されるので、モードを切り替えると
音量も変わります。(インテリジェントボリューム)

一時的に消音する (ミュート)

を押す (再度押すと、解除)

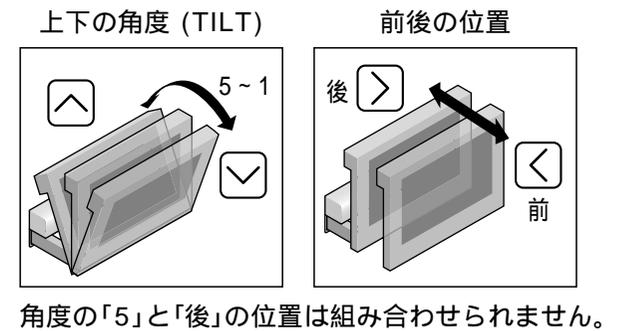
モニターの角度や位置を調整するには

上下の角度・前後の位置は、モニターの左右の角度を手で中央に戻してから調整してください。



お知らせ

終了するには...
 を押す
約10秒間何もしないと...
もとの画面に戻ります。
次回モニターを立ち上げたとき、前回調整
した角度と位置で立ち上がります。
より映像を見やすくするには、画面の
「明るさ」も調整してください。
([P.20](#)ページ)
メニュー画面からも調整できます。
([P.22](#)ページ)



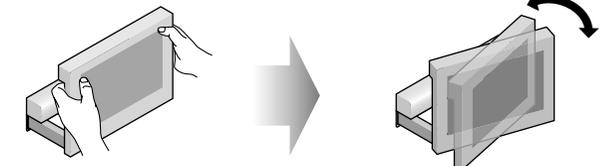
角度の「5」と「後」の位置は組み合わせられません。

無理に動かさないでください。(フル電動)
手で動かすと、故障の原因になります。

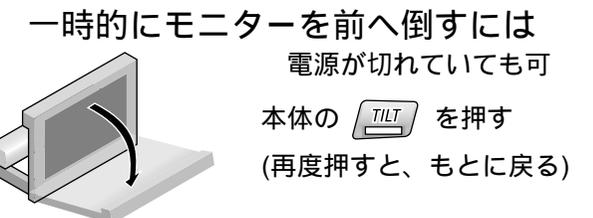
お願い

モニターの動きを妨げたり、無理な力を加えないでください。
モニターの上に物を置かないでください。
モニターに強い衝撃を与えないでください。
(荷物の出し入れ時など)

左右の角度を調整するには



上半分(裏側に丸い凹みのある部分)を持って、
ゆっくり動かす
指をはさまないように、気を付けてください。



一時的にモニターを前へ倒すには
電源が切れていても可
本体の を押す
(再度押すと、もとに戻る)

注意

可動部に手・指を入れない

可動部に手・指を入れると、けが
や故障の原因になります。
特に乳幼児にご注意ください。
禁止

テレビを見る

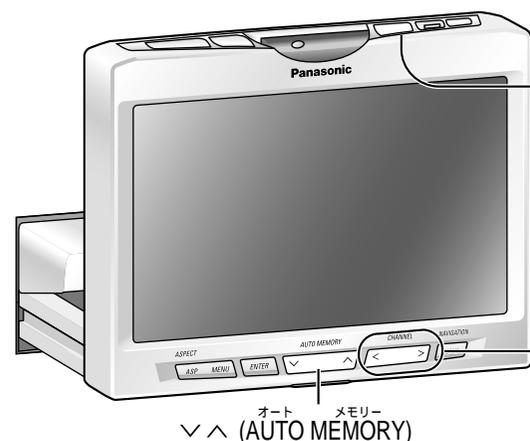
画面表示について

現在の出力状態が表示されます。

モード表示 (TV、VTR、CAMERA) 音声の種類 (⇨15ページ)



チャンネル (⇨15ページ)
チャンネル一覧表 (⇨15ページ)



準備 テレビアンテナを接続して使用してください。(⇨30ページ)

- 1** **MODE** を押して、TVモードにする
- 2** **CHANNEL** を押して、チャンネルを選ぶ

自動選局 (シーク) したいときは 0.5秒以上押す

はなした時点から選局を始め、受信すると止まります。

リモコンの場合には「10キー」で数字の入力も可 (ダイレクト選局)

受信中のチャンネルなどを確かめるには

ENTER を押して、表示させる

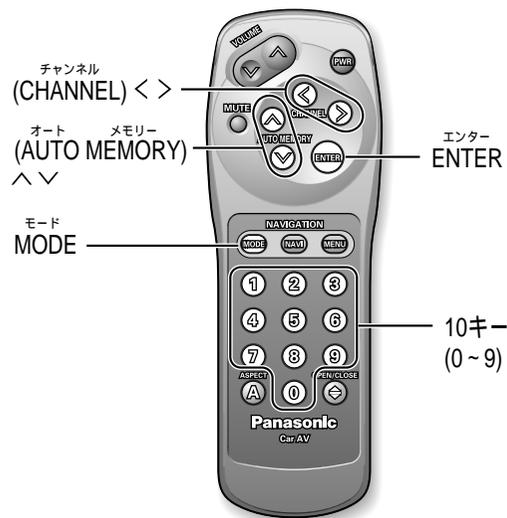
警告

運転者は走行中に操作をしない、また画像を注視しない



禁止

走行中の操作や画面の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。安全な場所に停車し、操作してください。



チャンネルを記憶させるには (オートメモリー)

チャンネルを自動で探し、最大18局まで記憶させることができます。

AUTO MEMORY を2秒以上押す

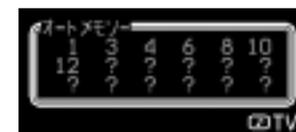
" : 1 chからサーチする

: 62 chからサーチする

チャンネル番号順に記憶されます。

チャンネルを呼び出すには...

AUTO MEMORY を押す



オートメモリー中



終了時

お知らせ

記憶されたチャンネルは、操作するたびに更新されます。

電波状況により、画質が悪いチャンネルを受信することもあります。

受信できるチャンネルが見つからないときは、1周してもとのチャンネルに戻ります。

テレビ放送の音声を切り替えるには

ステレオ放送や音声多重放送は、音声を切り替えることができます。

1 **ENTER** を押す

2 音声の種類が表示されている間 (約4秒間) に再度 **ENTER** を押して切り替える



音声の種類

ステレオ放送の場合

ステレオ ↔ モノラル

音声多重 (2カ国語) の場合

主音声 → 副音声 → 主 / 副音声

チャンネル番号の色で放送の種類を示します。

緑：モノラル放送

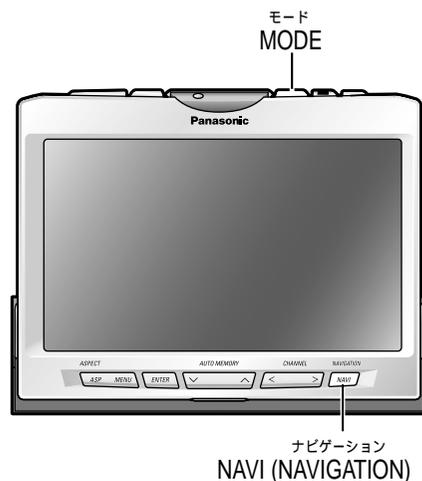
黄：ステレオ放送

赤：2カ国語 (音声多重) 放送

お知らせ

モノラル放送の場合は、音声の種類が表示されません。

組み合わせる/便利な機能

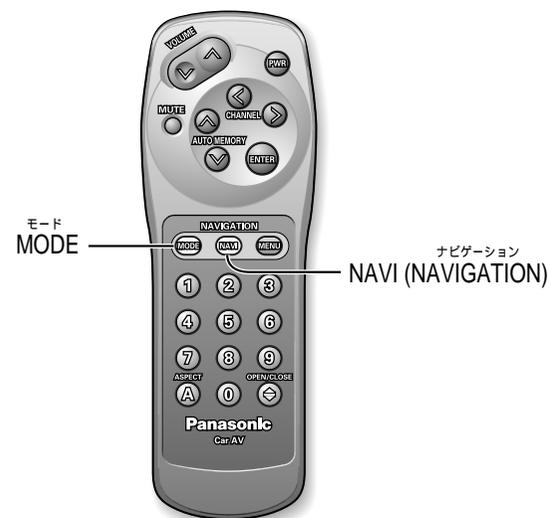


ナビゲーション
NAVI (NAVIGATION)

テレビなどの音声をFMラジオで聞く場合

(FMトランスミッター)
本機の音声を車載のFMラジオで受信して、聞くことができます。
(実用到達距離：約3 m)
RGB接続のナビゲーションの音声は、出力されません。

準備 FMトランスミッター用アンテナコードが伸びているか、確認してください。(☞32ページ)



ナビゲーション
NAVI (NAVIGATION)

カーナビゲーションシステムと組み合わせた場合

準備 ナビゲーションを接続してください。(☞34ページ)
「ナビゲーション入力」の設定を確かめてください。(☞22ページ)

後席用(2台目)のモニターでテレビやビデオを見るには

準備 もう1台モニターを接続してください。(☞37ページ)

- 1 FMトランスミッターの周波数を設定する(☞22ページ)
FMラジオ放送と混信しない周波数に設定してください。
- 2 FMラジオの周波数をFMトランスミッターの設定に合わせる
- 3 **MODE** を押して、FMトランスミッターに送信する音声を切り替える
テレビ音声などがFMラジオから出力されます。

音量は、FMラジオで調整してください。

お知らせ

FMトランスミッターから出力される音声は、ステレオです。FMラジオのスピーカーがステレオの場合は、ステレオ音声を出力することができます。

MDレシーバー (CQ-MRX602D) などの1DINオーディオと組み合わせた場合には、FMトランスミッターを使用する必要はありません。

接続したオーディオで、外部機器モードに切り替えてください。
例) CQ-MRX602Dは「AUX IN」

ナビゲーションモードにするには

NAVIGATION を押して、
NAVI ナビゲーションを「ON」にする

(再度押すと、解除：ナビゲーション「OFF」)
ナビゲーションの音声は、内蔵スピーカーから出力されます。

本機にナビゲーションの画面を表示させたまま
テレビやビデオの音声を聞くには
FMトランスミッターで聞いてください。(☞上記項目)

本機でナビゲーションの映像・音声を出力しながら、
TV (またはVTR) の音声をFMトランスミッターで
出力します。



ナビゲーションがONのとき

前席 (本機) と同じモードの映像・音声が出力されます。

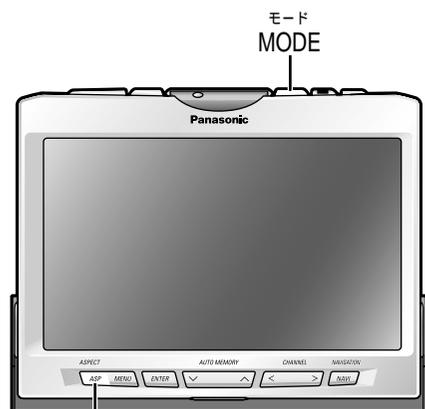
本機にナビゲーションの画面を表示させたまま
後席用 (2台目) のモニターの映像・音声を
切り替えるには
ナビゲーションモード時に
MODE を押す

前席 (本機) の映像・音声 (内蔵スピーカー) はナビゲーションのまま、後席 (2台目) の映像・音声だけが切り替わります。

お知らせ

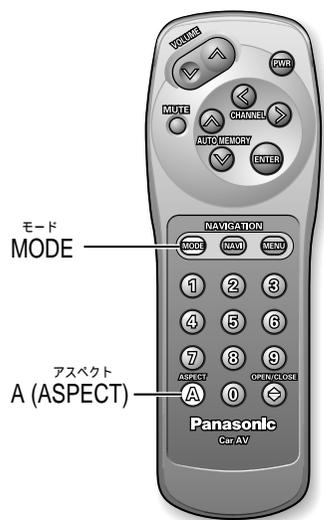
RGB接続のナビゲーションの映像は、出力されません。

組み合わせる/便利な機能



モード
MODE

アスペクト
ASP (ASPECT)



モード
MODE

アスペクト
A (ASPECT)

車載用カメラと 組み合わせた場合

準備

車載用カメラ、リバーコードを接続してください。(☞36ページ)
「カメラ入力」の設定を確かめてください。(☞22ページ)

DVDビデオプレーヤーまたは ビデオカメラなどと 組み合わせた場合

準備

DVDビデオプレーヤー、またはビデオカメラなどを接続してください。(☞34、37ページ)

映像の横縦比を変える (アスペクト)

(アスペクト)

初期設定：ノーマル

モード数：4種類

営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがあります。

ワイドでない通常(4:3)の映像をジャスト・ズーム・フルなどで画面いっぱいに拡大すると、周辺の画像が一部見えなくなったり変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナル映像は、ノーマルモードでご覧ください。

車のチェンジレバーを 「R (リバース)」に入れる

車載用カメラの映像が表示されます。

お知らせ

モニターの電源が「OFF」のときも、表示されます。

接続した端子 (VTR/CAMERA) と同じモードに切り替えたときも、表示されます。

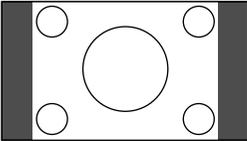
を押し、 VTRモードまたはCAMERAモードにする

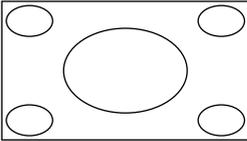
接続した端子 (VTR/CAMERA) と同じモードに切り替えてください。
接続した機器で再生した映像が表示されます。

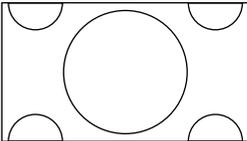
お知らせ

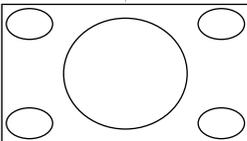
接続した各機器側で操作してください。

を押し、画面モードを切り替える

- 

ノーマル
通常の4:3(横:縦)の画面。
左右が黒くなる。
- 

フル
全体を横方向に伸ばした画面。
どの位置でも、伸ばす比率が同じ。
- 

ズーム
ノーマルモードの比率のまま、
いっぱい伸ばした画面。
上下が少しカットされる。
- 

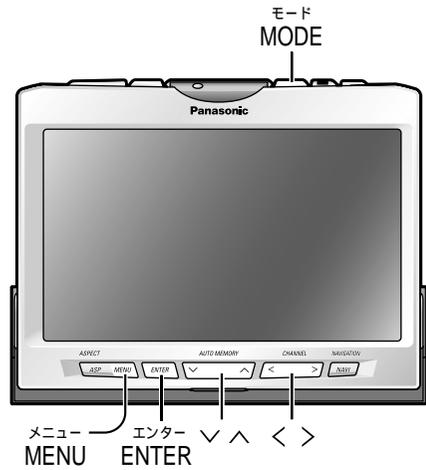
ジャスト
横方向に伸ばした画面。
両端に近いほど、伸ばす比率が
大きくなる。

お知らせ

TV・VTR・CAMERAモードは、同じ設定になります。

ナビゲーションの映像は、切り替えられません。フルで固定されます。
車載用カメラの映像は、切り替えられません。フルで固定されます。
選びかたによっては、オリジナル映像と異なって見える場合があります。

いろいろな設定と調整



1 メニュー画面から項目を選び



- ① **MENU** でメニューを表示させて
- ② **↓** **↑** **←** **→** で項目を選び、
- ③ **ENTER** を押す。

2 設定する



- ① **←** **→** で選択・調整し、
- ② **ENTER** を押す。

お知らせ

設定画面で約10秒間何も操作しないと...
もとの画面に戻ります

メニューに戻すには...

MENU を押す

終了するには...

MODE を押す
POWER

画面調整

画面 (バックライト) の明るさを設定する
初期設定：自動

白黒の差(コントラスト)を調整する
初期設定：±0
調整範囲：-15 ~ +15

画像の明るさを調整する
初期設定：±0
調整範囲：-15 ~ +15

色の濃さを調整する
初期設定：±0
調整範囲：-15 ~ +15

色あいを調整する
初期設定：±0
調整範囲：-15 ~ +15

画面調整
から

ディマー設定
を選び

自動 : 周囲の明るさに合わせて、自動調光される
1 2 3 4 : 暗くなる (1) ~ 明るくなる (4)

コントラスト
を選び

「-」: 白黒の差が小さくなる
「+」: 白黒の差がはっきりする

明るさ
を選び

「-」: 暗くなる
「+」: 明るくなる

色の濃さ
を選び

「-」: 色が薄くなる
「+」: 色が濃くなる

色あい
を選び

「-」: 赤色が濃くなる
「+」: 緑色が濃くなる

時計設定

時計を表示する/しないを選ぶ
初期設定：OFF

時計を調整する
初期設定：未調整 (0:00の表示が点滅)

秒を0にする (リセット)

時計設定
から

表示
を選び

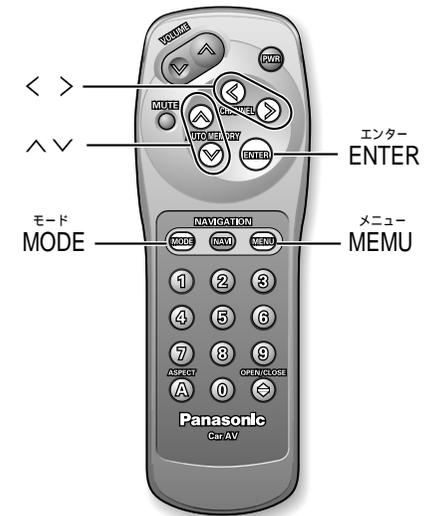
ENTER を押すごとに、**OFF** と表示されているときは **ON** になる
時計表示のON/OFFが切り替わります。 **ON** と表示されているときは **OFF** になる

時刻調整
を選び

「時」「分」を調整する (24時間表示)

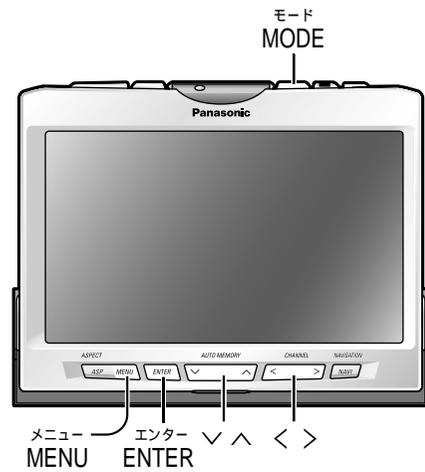
秒リセット
を選び

ENTER を押すと、
時計表示が1回点滅して時計が動き始めます。



使いかた

いろいろな設定と調整



1 メニュー画面から項目を選び



- ① **MENU** でメニューを表示させて
- ② **↓** **↑** **←** **→** で項目を選び、
- ③ **ENTER** を押す。

2 設定する



- ① **←** **→** で選択・調整し、
(モニターポジションは、**↓** **↑** **←** **→** で調整)
- ② **ENTER** を押す。

お知らせ

設定画面で約10秒間何も操作しないと...
もとの画面に戻ります

メニューに戻すには...

MENU を押す

終了するには...

MODE を押す
POWER

ユーザー設定

FMトランスミッタを使用する/しないを選ぶ
初期設定：ON / 76.0 MHz
調整範囲：76.0 MHz ~ 79.0 MHz
(0.1 MHzごと)
詳しくは、16ページをご覧ください。

内蔵スピーカーの出力を設定する
初期設定：自動

ナビゲーションとの接続について設定する
初期設定：RGB

車載用カメラとの接続について設定する
初期設定：OFF

モニターの上下の角度(TILT)や前後の位置を調整する
初期設定：角度... 3 / 位置... 前
調整範囲：角度... 1 ~ 5 (5段階)
位置... 前・後 (2段階)

ユーザー設定から

FMトランスミッタ
を選び

ENTER を押すごとに、
FMトランスミッタのON/OFFが切り替わります。
ON と表示されているときは **OFF** になる
OFF と表示されているときは **ON** になる

FMトランスミッタを使用する場合には
周波数 を選び、FM放送局のない周波数に調整してください。

スピーカー設定
を選び

OFF : 音声を出力しない (音量調整も不可)
自動 : 映像と同じモードの音声を出力する
カーナビ固定 : 常にナビゲーションの音声を出力する

ナビゲーション入力
を選び

RGB : RGB入力に接続、または未接続の場合
VTR : VTR入力に接続した場合
CAMERA : CAMERA入力に接続した場合

カメラ入力
を選び

OFF : 未接続の場合
VTR : VTR入力に接続した場合
CAMERA : CAMERA入力に接続した場合

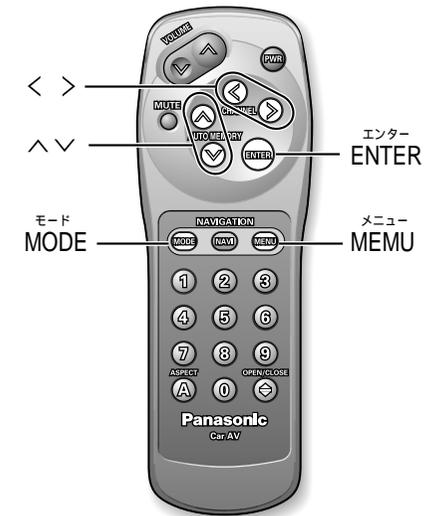
モニターポジション
を選び

詳しくは、13ページをご覧ください。

↓ **↑** 上下の角度 (TILT) : **1** **2** **3** **4** **5**

← **→** 前後の位置 : **前** **後**

モニターの左右の角度を、手で中央に戻してから調整してください。
角度の「5」と「後」の位置は組み合わせられません。



使いかた

お手入れのしかた

本機が汚れたときは

電源を切ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。

ベンジンやシンナー類を使うとケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。

化学ぞうきんをご使用になる場合は、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。



使用しない

画面を拭くときは

ホコリや汚れは、柔らかい布 (付属のクリーニングクロスなど) で、から拭きしてください。

画面をツメで引っかかないでください。キズが付くと見づらくなります。

故障かな!?

症状	原因と処置	ページ
電源・共通		
電源が入らない	車のエンジンをかけてください。(「ACC ON」でも可) 各コードの接続を確認してください。 モニターを立ち上げていない。 # モニターを立ち上げてから、電源を入れてください。 本機、または接続した機器のヒューズが切れている。 # お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」 (別紙) にヒューズの交換を依頼してください。	12 " 12 "
音声のみで、映像が出ない (チャンネルのみ表示)	サイドブレーキのコードの接続を確認してください。 サイドブレーキを引いて、使用してください。	33 "
内蔵スピーカーから音が出ない	音量を上げてください。 ミュートが「ON」になっている。# 「OFF」にしてください。 スピーカー設定が「OFF」になっていないか、確認してください。 結露している。# しばらく放置してから使用してください。	12 12 22 "
雑音が出る 映像の映り悪くなる	携帯電話などを本機から離してください。	"
モニター		
モニターの上下角度や前後の位置が調整できない	障害物にあたらない位置で使用してください。	13
モニターが収納できない	モニターの左右の角度を中央に戻してください。	13

症状	原因と処置	ページ
テレビ		
映像が出力されない	TVモードに切り替えてください。 (ナビゲーションを「OFF」にしてください。)	12
雑音のみで映像が不鮮明	電波が弱い。チャンネルが合っていない。 # チャンネルを切り替えてください。 まわりに障害物があるので、受信状態が良くない。 # 受信状態の良い場所へ移動してください。 テレビアンテナの接続や取り付けを確認してください。	14、15 " 30
外部入力 (VTR入力、CAMERA入力) ナビゲーション・DVDビデオプレーヤー/ビデオカメラ・車載用カメラなど		
ナビゲーションの映像が出ない	ナビゲーションの接続を確認してください。 ナビゲーション入力の設定を確認してください。	34 22
DVDビデオプレーヤー やビデオカメラの映像が出ない	DVDビデオプレーヤーやビデオカメラの接続を確認してください。	37
車載用カメラの映像が出ない	車載用カメラの接続を確認してください。 カメラ入力の設定を確認してください。	36 22
外部出力 (プリアウト) FMトランスミッター・2台目のモニターなど		
FMトランスミッターから音が出ない、小さい、雑音が出る	FMトランスミッター設定を「ON」にしてください。 FMラジオの周波数と、本機の周波数を一致させてください。 FMトランスミッター用アンテナを伸ばして、受信状態がよくなるようにコードを引き回してください。 本機では音量調整できません。 FMラジオ側の操作で調整してください。	22 16 32 16
2台目のモニターから音が出ない、小さい、映像が出ない	本機では音量調整できません。 接続した2台目のモニター側の操作で調整してください。 モニターの接続を確認してください。	" 37
画質・音質調整		
画面の明るさが一定でない	ディマーの設定が「自動」になっている。 故障ではありません。設定を「1」~「4」にすると、 周囲の明るさに影響されなくなります。	20
映像が暗い/白っぽい 色あいが悪い/色が濃い	画面調整の各項目を調整してください。	20

必要なときに

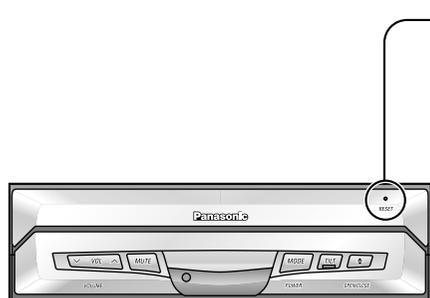
故障かな!?

症状	原因と処置	ページ
リモコン		
ボタンを押しても動作しない	⊕ ⊖ を電池ケースの表示に合わせて入れてください。	9
	電池が消耗している。交換してください。	9
	リモコン受光部に向けて操作してください。	10
	ナビ付リモコンのナビ/テレビ切り替えスイッチを「TV」側にしてください。	38

こんなときは、故障ではありません

症状	原因
映像がゆれる 映像が2重3重になる (雑音が出る)	ビルとビルの間/送電線の付近/山かげ/電車の近くなどを車が通過した。 車の上空を飛行機が通過した。
映りが悪くなる 色が出たり消えたりする (雑音が出る)	山や木立のかげになっている。 放送局から遠く、電波が弱い。
画面にはん点が出る (音は正常)	自動車/バイク/高圧線/ネオンサイン等の近くなどを車が通過した。
色模様が出る、色が消える (音は正常)	ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナの近くなどを通過した。 車内で無線機を使用した。
赤、青または緑の点が表示される	液晶ディスプレイ特有の現象です。

どのボタンを押しても動作しない場合には



リセットスイッチ
折れにくい棒状のもので、リセットスイッチをまっすぐに押ししてください。
回復後、電源が切れます。
記憶した内容や設定は解除されますので、もう一度、設定・調整しなおしてください。
リセットしても正常に戻らない場合は
お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理を依頼してください。

万一、故障や異常が起こったら

すぐに電源を切ってください。
煙が出ていないこと、熱くないことを確認してから電源の接続をはずし、お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理を依頼してください。
お客様による修理は、絶対におやめください。

配線・取り付けの前に

警告

分解・修理、および改造をしない



分解禁止

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。

注意

配線・取り付けは、専門技術者に依頼する



配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。
安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

配線・取り付け部品の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

配線関係

品名	個数
電源コード	1
リバーズ延長コード (6 m)	1
圧着式コネクター	1

取り付け関係

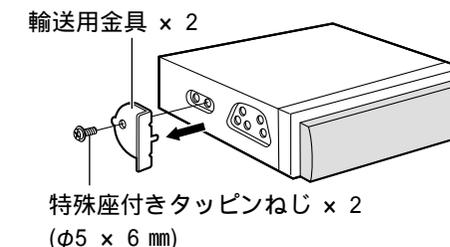
品名	個数
特殊座付きタッピンねじ(φ 5 × 6 mm)	2
特殊皿型タッピンねじ (φ 5 × 6 mm)	4
スペーサー	2
両面テープ	2

テレビアンテナ取り付け関係

品名	個数
アンテナベース (アンテナ本体に装着)	2
クリーナーセット [クリーナー液・ウエス (布)]	1式
コードカバー	4
コードクランパー	6

作業の順序

準備 両側面の輸送用金具をはずしてください。



取りはずした2本のねじは、車両への取り付けに使用する場合もあります。(⇒29ページ)

- 1 バッテリーの⊖端子をはずす。
- 2 配線する。(⇒32~37ページ)
他の機器と接続する場合には、各機器の説明書も併せてよくお読みのうえ、配線してください。
- 3 取り付ける。(⇒29ページ)
ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。
- 4 バッテリーの⊖端子を、もとに戻す。

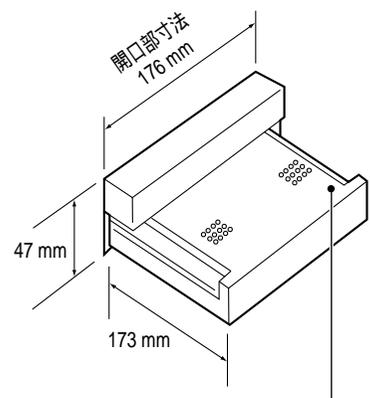
配線・取り付けの作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

お知らせ

別売のコネクター付コード(車両メーカー別)をご利用になると、車との配線がしやすくなります。
詳しくは、販売店に相談してください。

必要なときに

取り付け部の寸法・角度の確認

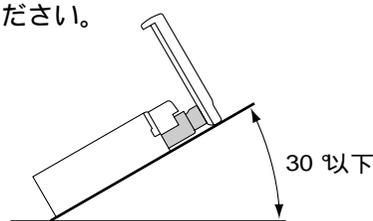


モニターは、約173 mm 前方に出てから立ち上がります。

ダッシュボードの形状や寸法によっては、取り付けられない場合やシフトレバーなどに接触する場合があります。詳しくは、販売店に相談してください。

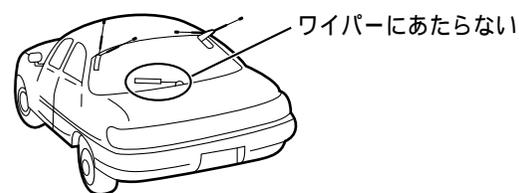
オーディオスペースがDINサイズ (横 180 mm、縦 50 mm) または2DINサイズ (横 180 mm、縦 100 mm) でない場合には、販売店に相談してください。

水平に対して、30°以内の角度で取り付けてください。



テレビアンテナの取り付けについて (→30ページ)

リアウィンドウ (上部のコーナー部分) へ、アンテナエレメントが車両の外側にはみ出さないように取り付けてください。



1BOXカー、2BOXカーの場合にはバックドアの開閉でアンテナエレメントが目にあたり、コードが断線しないよう取り付けてください。

接着力を高めるために...

貼りなおさない
一度取り付けると、粘着力が弱くなるため、貼りなおができません。仮止めして、取り付け位置を確認してください。

雨天時は野外で作業しない
ドライヤーなどで湿気を乾かしてください。

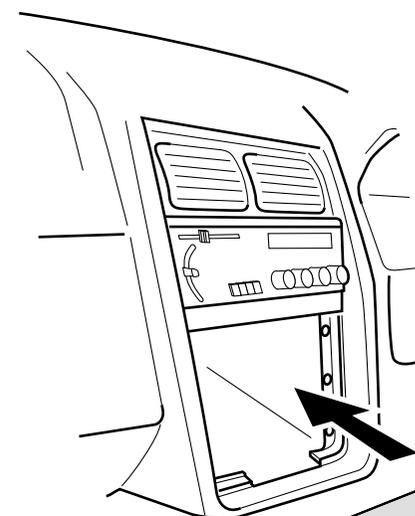
ガラスの表面をあたためる
外気温が20℃以下のときは、5分ほどリアウィンドウデフォグガーや車内ヒーターを使用してください。

貼り付けたあと、24時間放置する
雨中を走行したり、引っ張ったりしないでください。(通常の走行には、さしつかえありません。)

お知らせ

フッ素樹脂処理された (水滴や泥水等をはじく) 塗装面やガラス面、再塗装された面には取り付けられません。

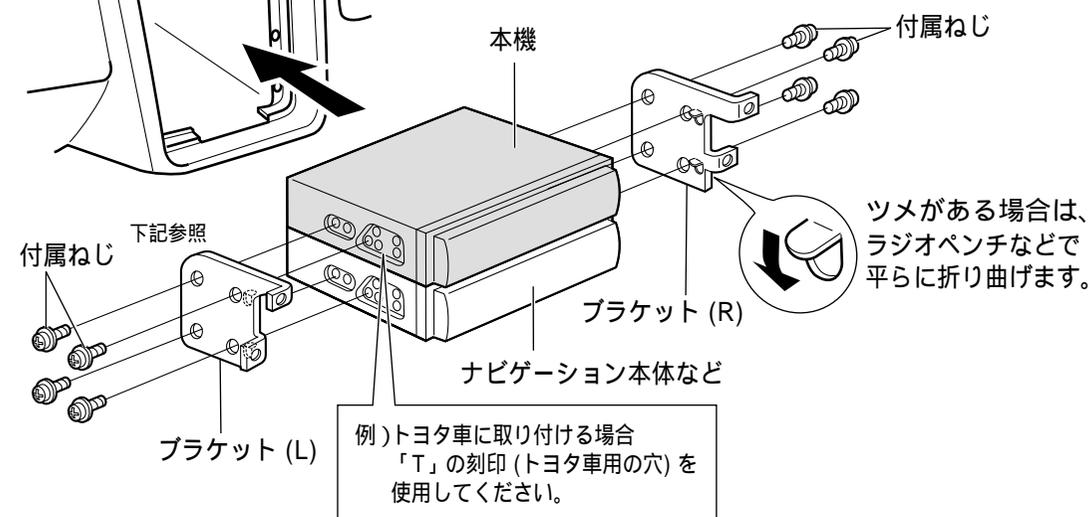
使用する取り付け金具 (ブラケット) は、車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。詳しくは、販売店に相談してください。



トヨタ車 (DINサイズ採用車)
純正のカーステレオを固定していたブラケットを使用してください。

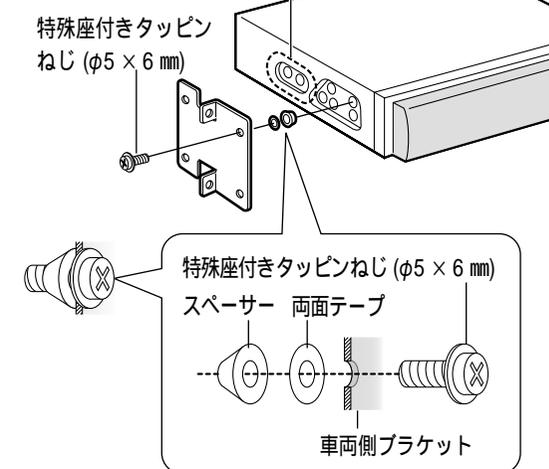
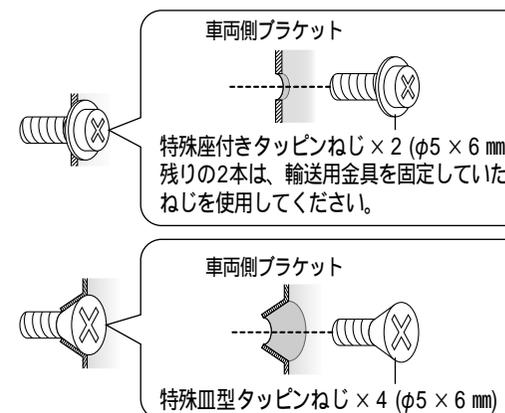
日産・本田・三菱車 (DINサイズ採用車)
別売の車両メーカー別標準取り付けキット、または車種別の取り付けキットを使用してください。

上記メーカー以外の車
別売の専用取り付けキット、または汎用取り付けキットを使用してください。



本機の取り付け用穴には、タップ加工がありません。必ず付属のタッピンねじをご使用になり、まっすぐ押しながら締めてください。付属ねじは、取り付け金具 (ブラケット) の穴形状に合わせて選んでください。

ブラケットが不安定な場合には
スペーサーで取り付けを補強し、固定してください。この穴には、スペーサーを使用しません



お願い

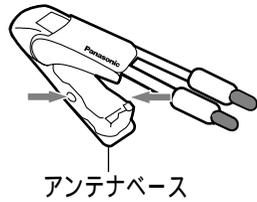
必ず付属ねじを使用してください。長さの異なったねじを使用すると、故障の原因になります。

必要なきに

テレビアンテナを取り付ける

1 アンテナ本体からベースをはずす。

両側のボタンを押しながら、アンテナ本体を上を持ち上げる。



2 アンテナベースを取り付ける。

ガラス面に合うように、アンテナベースを整形する。

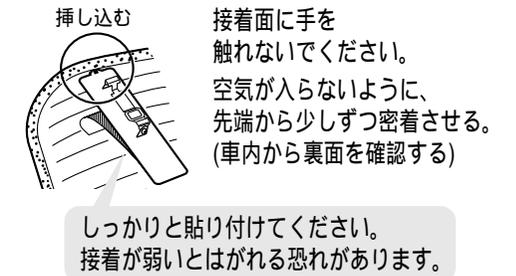


クリーナーセットで、貼り付ける部分のほこり・油・ワックスを拭き取る。



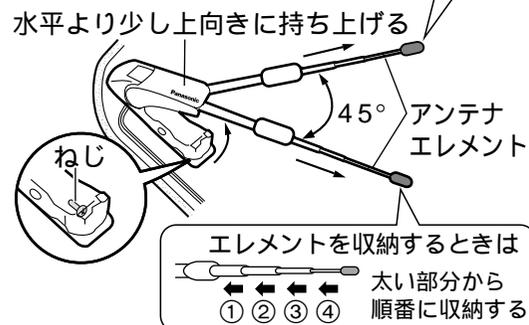
乾いて白くなったクリーナー液は乾拭きで拭き取ってください。

裏紙をはがして、アンテナベースを貼り付ける。



調整のしかた

引き伸ばしてお使いください。



エレメントが車幅からはみ出す場合は...

- ① ドライバーでねじをゆるめて、
- ② アンテナ本体の傾きを調整し、
- ③ ねじを締めなおす。

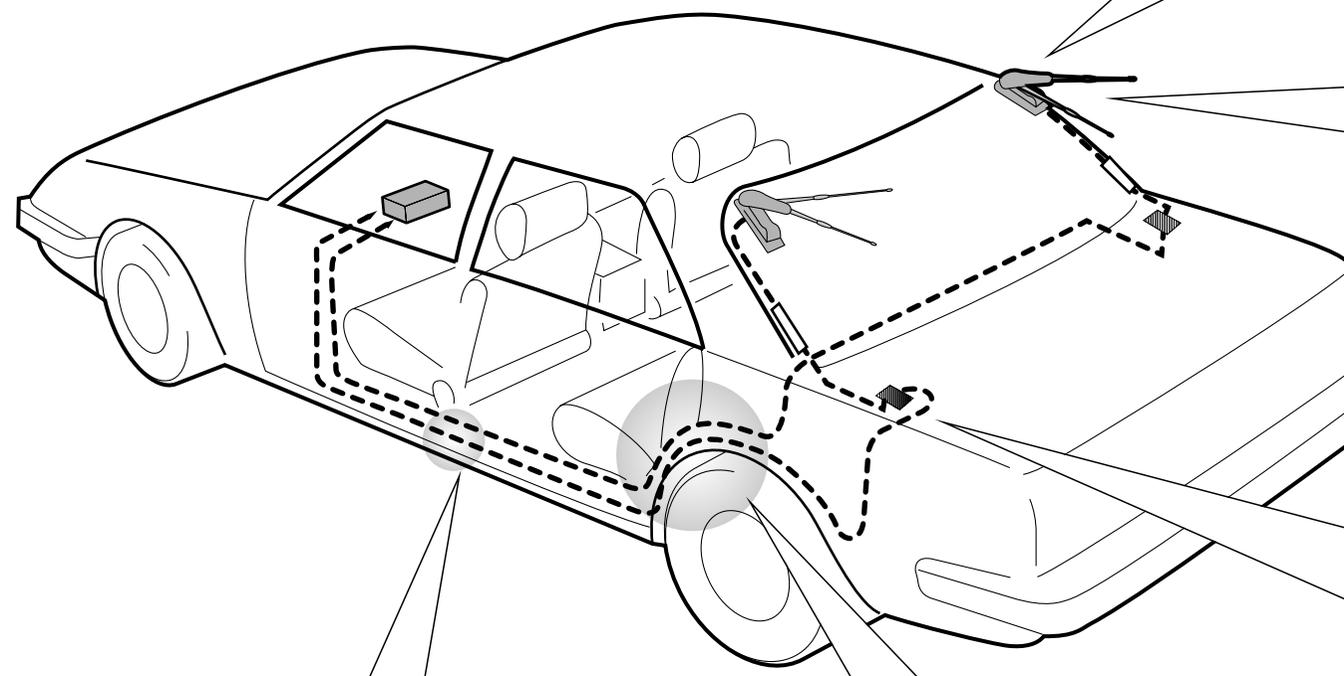
エレメントがスムーズに伸縮しないときは... 付属のクリーナー液、または市販のねり状ワックスで磨いてください。

お願い

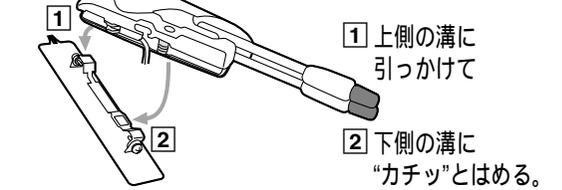
エレメントの先端は細いので、ていねいに扱ってください。

時々ねじのゆるみを点検し、締めなおしてください。

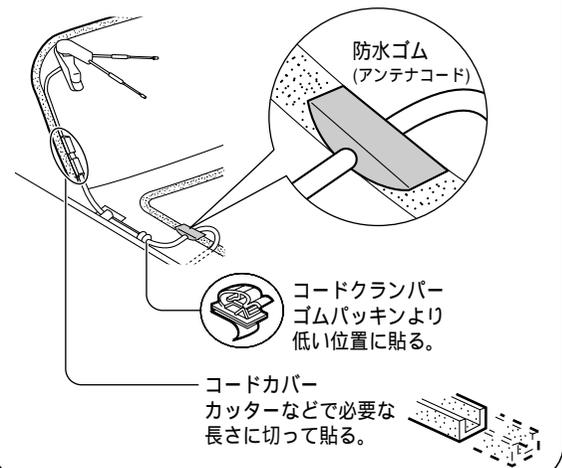
洗車や長時間駐車するときは... アンテナ本体をはずし、トランクへ収納してください。



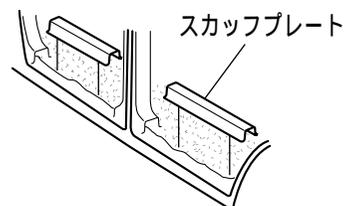
3 コードを外側に出してアンテナ本体を取り付ける。



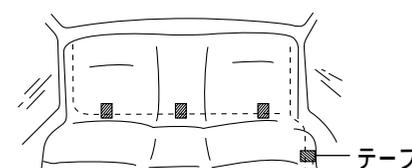
4 トランクに雨水が入らないようにコードを引き回す。



6 車のスカッフプレートははずしてカーペットの下を通す。



5 コードの要所を市販のテープなどでリアシートに固定しながら、引き回す。



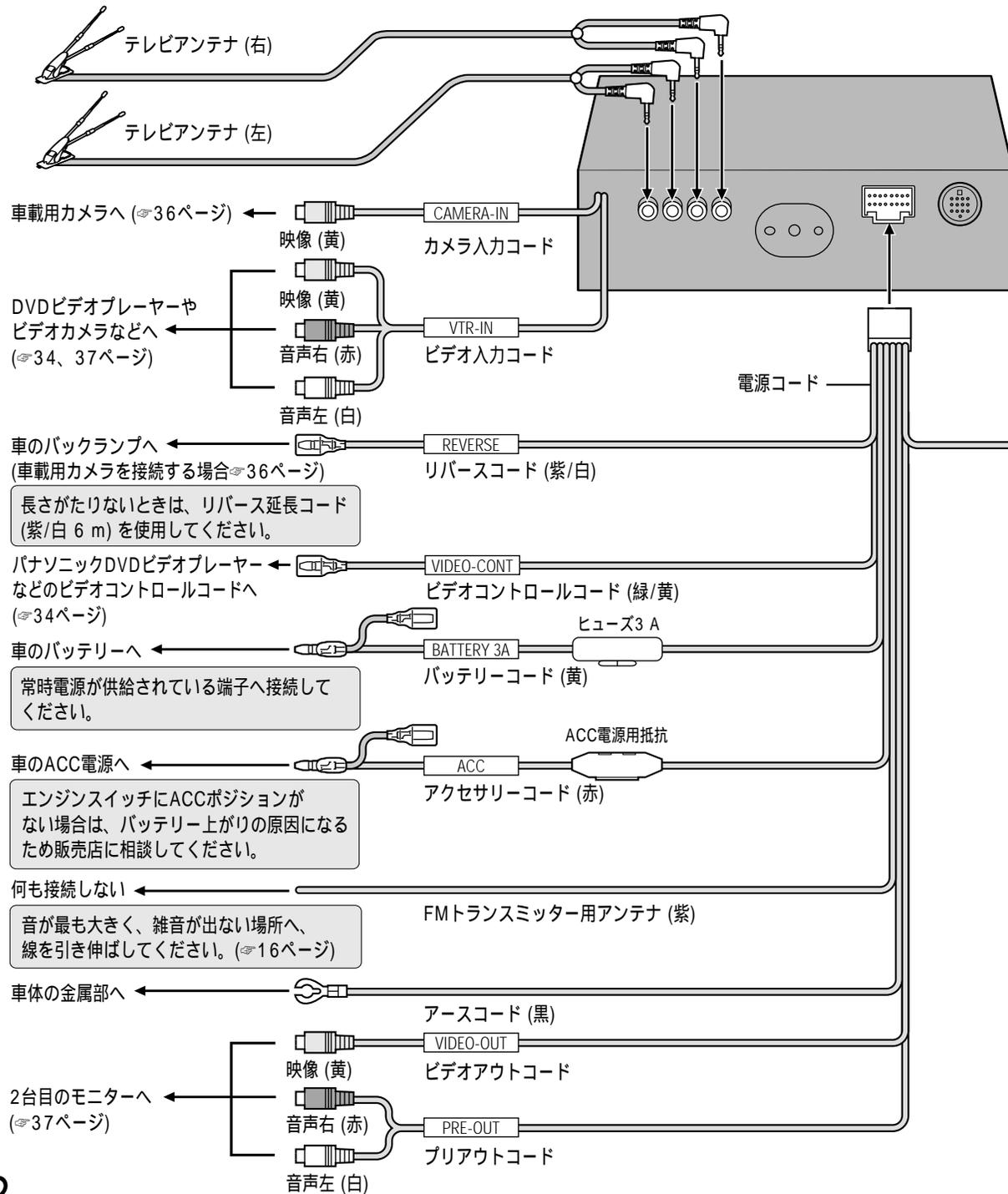
必要に応じて

配線のしかた

基本配線（付属コードを接続する）

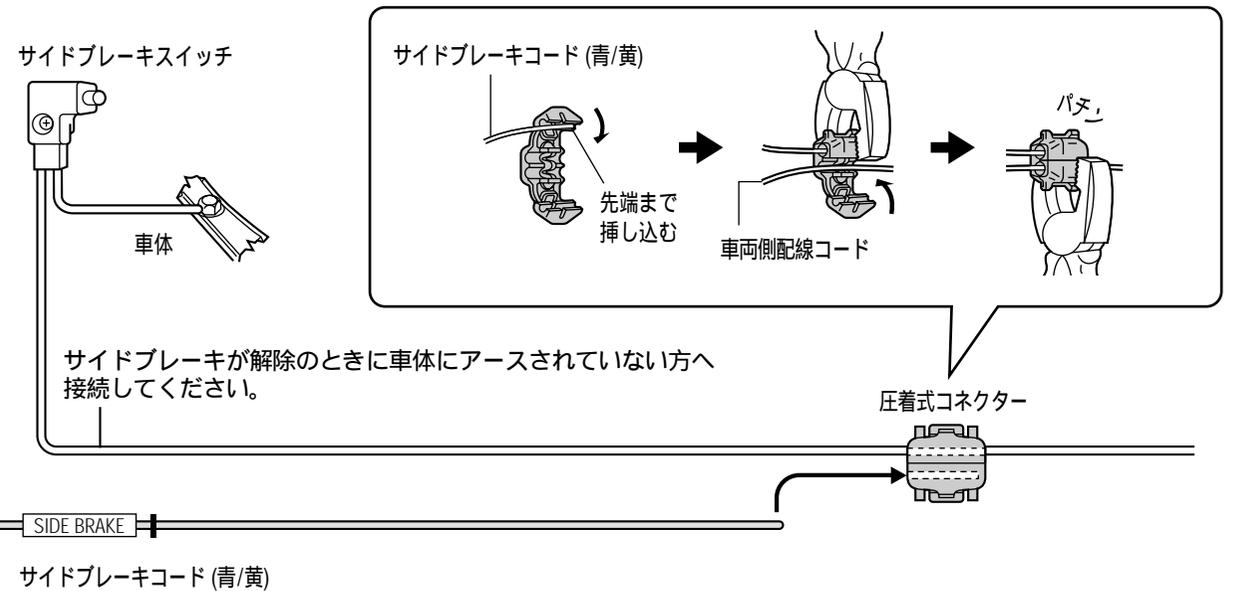
ショート事故防止のため、電源コードのコンネクターは、必ず全ての配線を済ませてから接続してください。

コンネクターは確実に挿し込んでください。取りはずすときも、必ずコンネクター部分を持ってください。

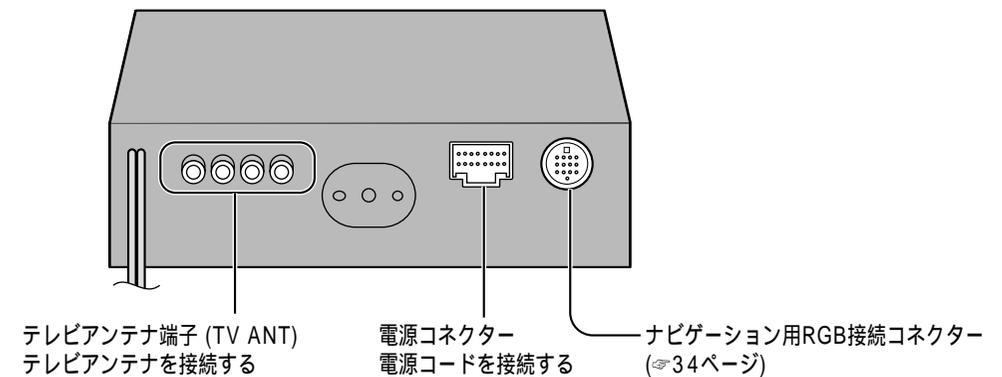


サイドブレーキコードの接続方法

安全と事故防止のため、必ず行ってください。



後面端子部



必要なときに

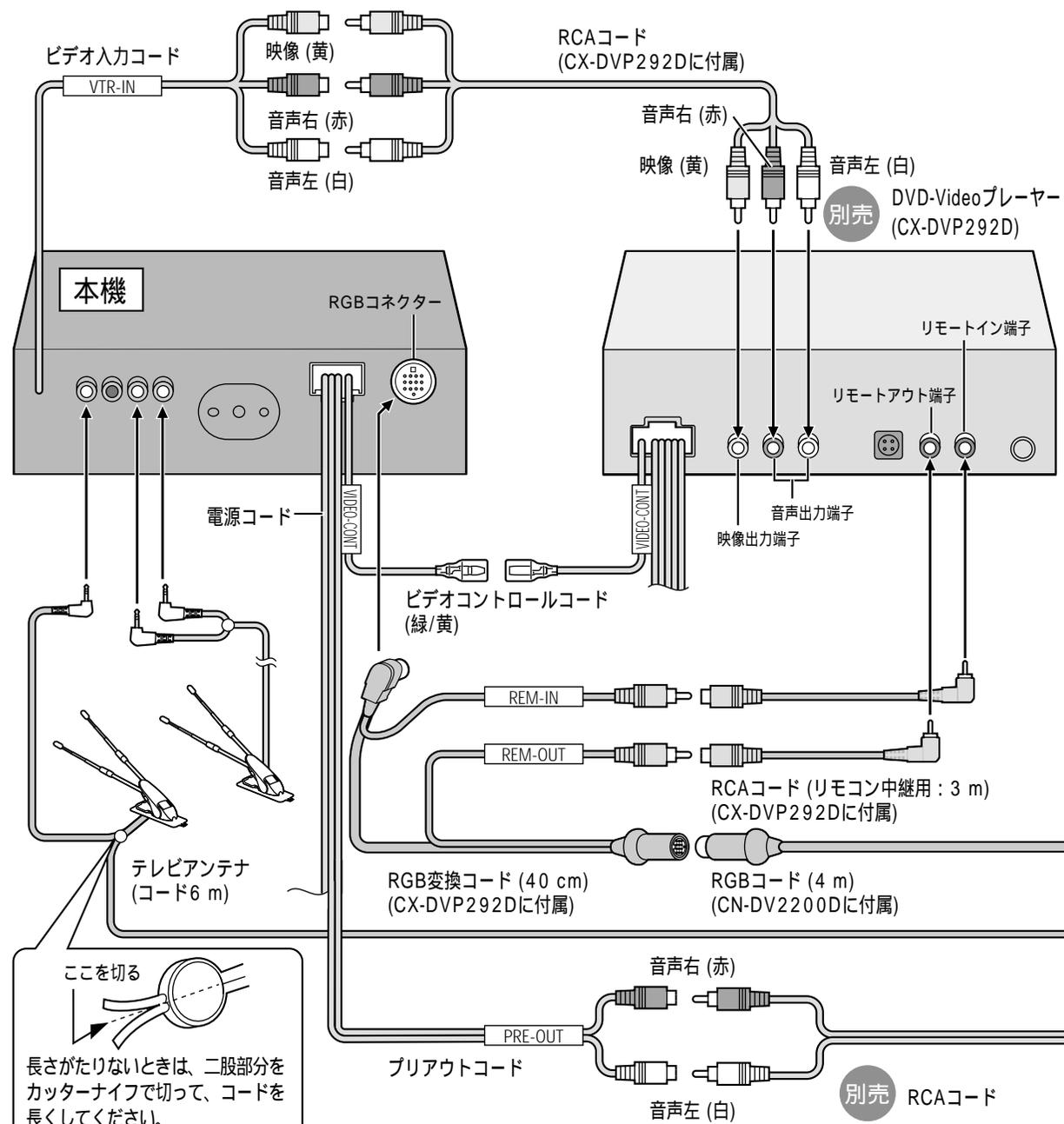
配線のしかた

ナビゲーション、MDレシーバー、DVDビデオプレーヤーを接続する

接続する機器の取付説明書も、併せてご覧ください。

「ナビゲーション入力」の設定を確かめてください。(P.22ページ)

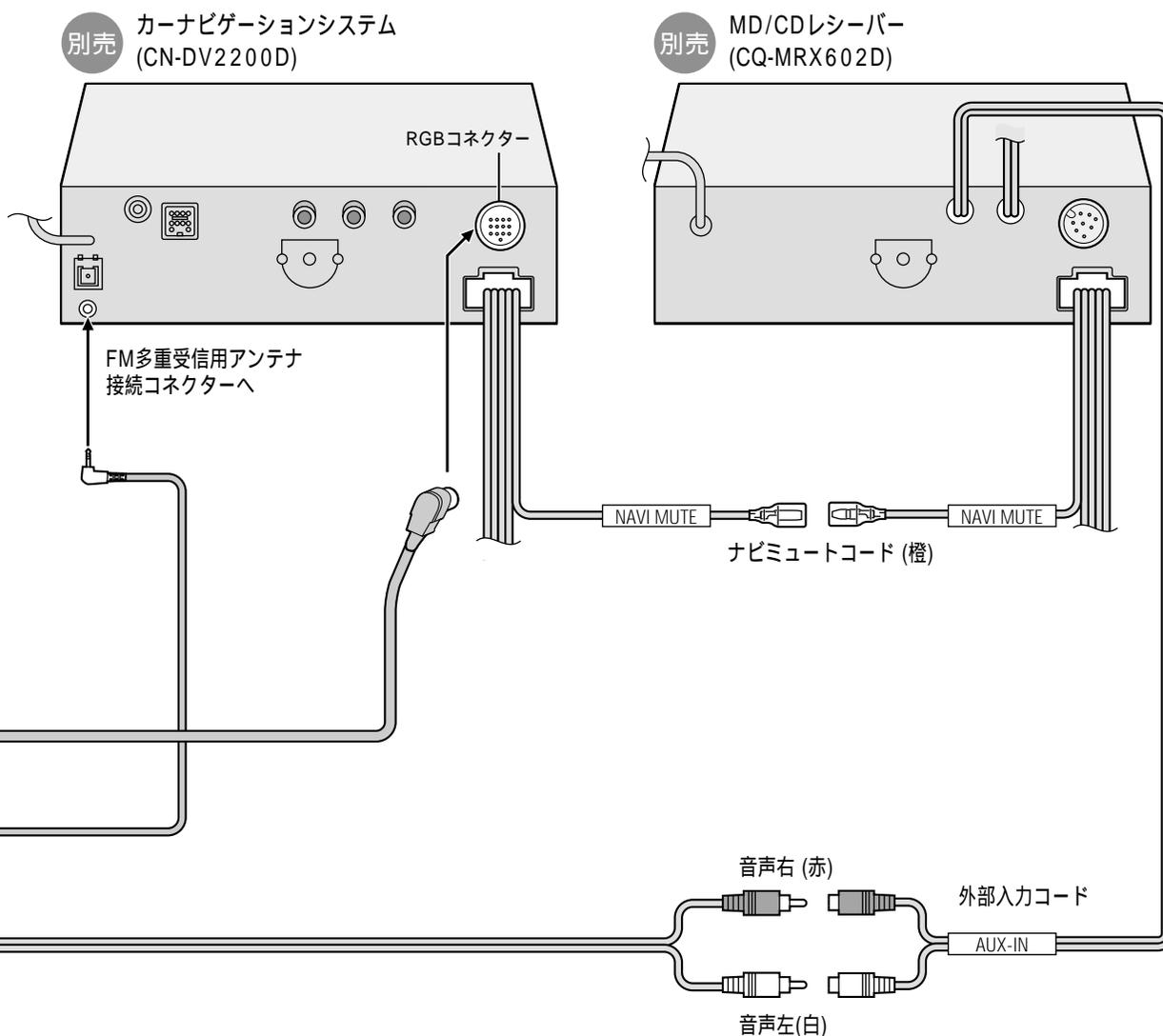
- 例) DVDカーナビゲーションシステム (CN-DV2200D)
 DVD-Videoプレーヤー (CX-DVP292D)
 MD/CDレシーバー (CQ-MRX602D)



取り付けに必要なキットやコードは、車種および取り付け場所によって異なりますので、販売店に相談してください。

お願い

各機器を重ねて取り付けしないでください。
 コネクターは確実に挿し込んでください。取りはずすときも、必ずコネクター部分を持ってください。
 コードは高熱部を避け、クランプやテープで固定してください。
 ゲーム機器を接続すると、映像が不安定になることがあります。
 テレビアンテナのコードとナビゲーションの配線は、できるだけ離してください。
 ナビゲーション映像の明るさが一定でない、またはエンジンの回転数に比例したノイズが出る場合には、ナビゲーションのアースコードを本機のアースコードと同じ場所に接続してください。



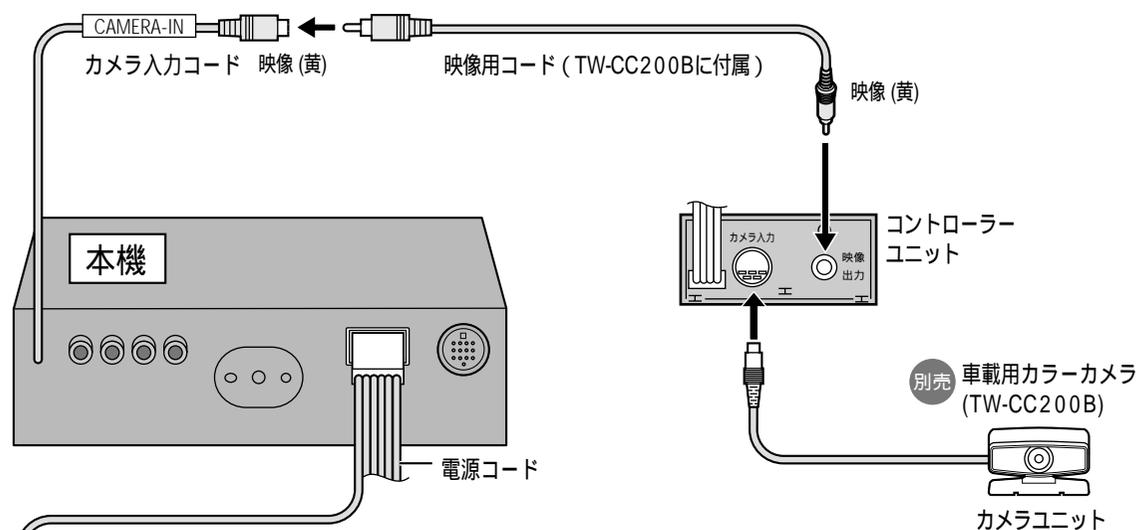
配線のしかた

車載用カメラを接続する

接続する機器の取付説明書も、併せてご覧ください。

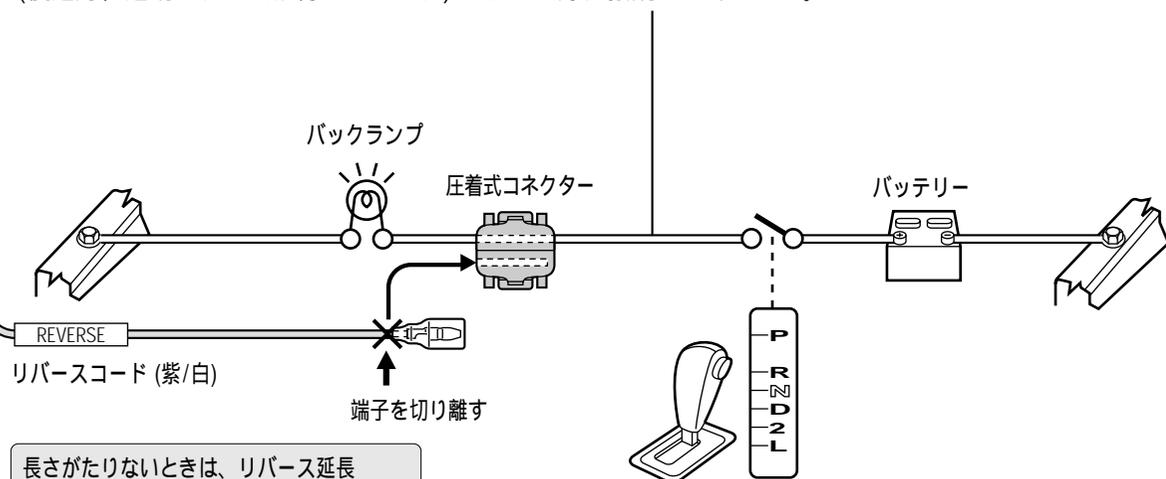
「カメラ入力」の設定を確かめてください。(←22ページ)

例) パナソニック車載用カラーカメラ (TW-CC200B)



リバースコードの接続方法

車のシフトレバーをリバース (R) に入れたときに点灯するバックランプ (後退灯、透明のレンズが付いたランプ) のプラス線に接続してください。

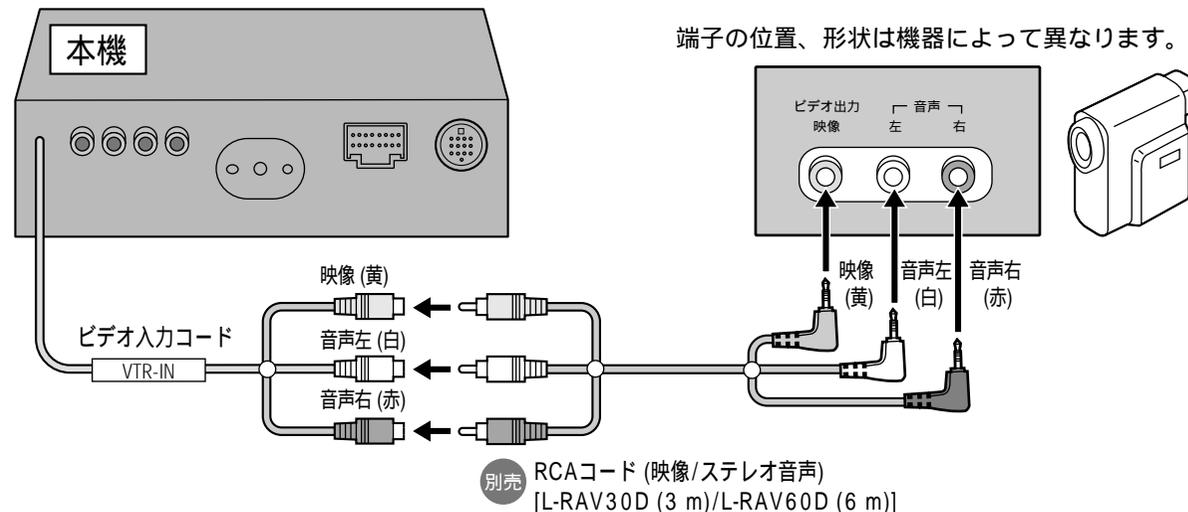


長さがたりないときは、リバース延長コード (紫/白 6 m) を使用してください。

ビデオカメラを接続する

接続する機器の取付説明書も、併せてご覧ください。

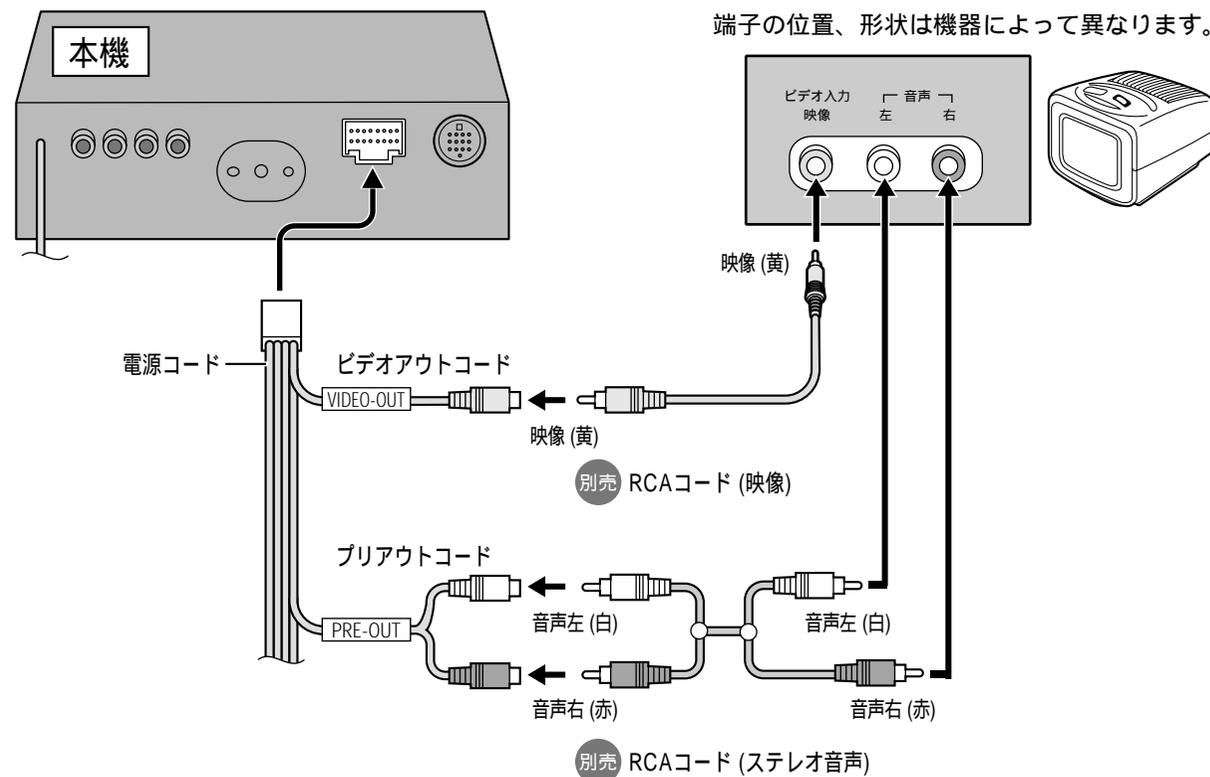
端子の位置、形状は機器によって異なります。



2台目のモニターを接続する

接続する機器の取付説明書も、併せてご覧ください。

端子の位置、形状は機器によって異なります。



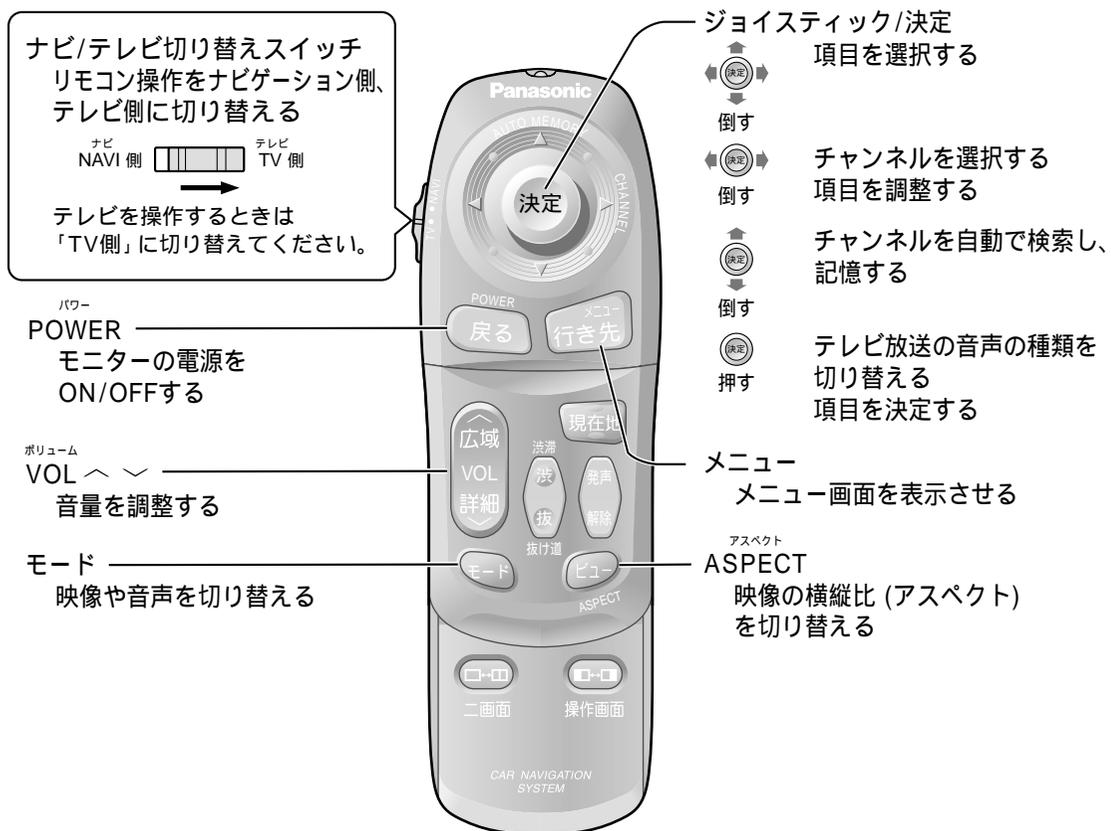
必要なときに

ナビ付属リモコンでの操作仕様

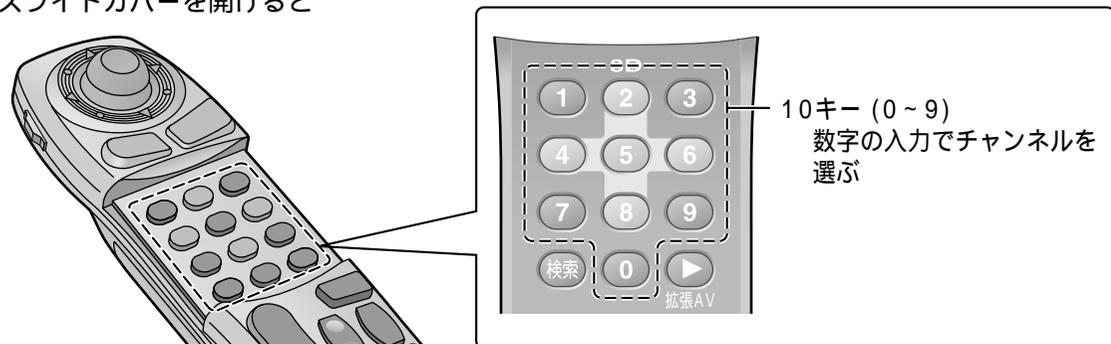
別売のカーナビゲーションシステム (CN-DV2200Dなど) を組み合わせた場合には、付属リモコンで本機を操作することができます。

本体 (モニター部) のリモコン受光部へ向けて、操作してください。

イラストは、CN-DV2200Dの付属リモコンです。



スライドカバーを開けると



お知らせ

電池の入れかたなどについては、ナビゲーションの取扱説明書をご覧ください。

共通

電源電圧	: DC12 V (11 V-16 V) ⊖アース (試験電圧14.4 V)
消費電流	: 1.5 A (TV動作定格出力時)
音声入力感度	: 2.0 Vrms (VTR)
プリアウト出力電圧	: 2.0 Vrms (VTR)
スピーカー	: 3.6 cm丸型1個
スピーカー出力	: 0.7 W
映像入力信号	: コンポジットビデオ信号 1.0 Vp-p (75)
映像出力信号	: コンポジットビデオ信号 1.0 Vp-p (75)
外形寸法	: 幅178 x 高さ50 x 奥行き160 (mm)
質量	: 2.0 kg

モニター部

画面寸法	: 7V型ワイド 幅156 x 高さ87、対角178 (mm)
画素数	: 336 960画素 (縦234 x 横480 x 3)
有効画素率	: 99.99 %以上
表示方式	: 透過型カラーフィルター方式
駆動方式	: TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリクス方式
使用光源	: L字型冷陰極管 (エッジライト方式)

テレビ部

受信チャンネル	: VHF1 ~ 12 ch、UHF13 ~ 62 ch (TVステレオ、音声多重)
実用感度	: 35 dB/μV

FMトランスミッター部

FMトランスミッター出力周波数: 76.0 MHz ~ 79.0 MHz

テレビアンテナ

出力インピーダンス	: 75 Ω x 4 (ミニプラグ付)
コードの長さ	: 6 m
外形寸法	: 幅30 x 高さ28 x 奥行き190 (mm) (エレメント収納時)
質量	: 250 g (アンテナ本体片側、コードを含む)

「NAVI」「ナビ」は登録商標です。

テレビのV型 (7V型等) は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

製品仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

アフターサービスについて

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

修理を依頼されるとき

「故障かな!？」の項目に従ってご確認ください。なおらないときには電源を切って、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お買い上げの販売店にご依頼になれない場合には、お近くの「ご相談窓口」（別紙）へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。恐れ入りますが、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。

補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後6年保有しています。

修理・お取り扱いなどのご相談は...
お買い上げの販売店 または
お近くの「ご相談窓口」（別紙）へ
その他のお問い合わせは...
「お客様相談センター」へ

お客様相談センター

フリーダイヤル  **0120-50-8729**
FAX **045-939-1939**
受付 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・弊社休日を除く)

この説明書は、再生紙を使用しています。



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年 月 日	品番	CY-TV7200D
販売店名	i ()	-	
お客様 ご相談窓口	i ()	-	

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 カーシステムビジネスユニット

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地

YEFM283921

F0502-0